

News Release

2021年1月4日
株式会社日立製作所

静岡銀行の次世代オープン勘定系システムが稼働開始 Fintech 連携などデジタル化への対応を加速する新しい勘定系システムとして刷新

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、株式会社静岡銀行(取締役頭取:柴田 久/以下、静岡銀行)と共同開発する、静岡銀行の次世代オープン勘定系システム(以下、本システム)について、1月4日から稼働を開始したことをお知らせします。

日立は、本システムを製品化し、次世代オープン勘定系パッケージとして他の金融機関への導入を進め、制度対応などエンハンス機能もパッケージに継続的に取り込んでいきます。今後、静岡銀行とさらなるパートナーシップの強化を図り、本パッケージのデファクトスタンダード化をめざします。

本システムは、メインフレームの信頼性・堅牢性を備えながらオープン基盤上で稼働する勘定系システムで、日立と静岡銀行が共同で開発を進めてきたものです。オープンテクノロジーを全面採用することで、Fintech をはじめとした新しい金融サービスやデータ利活用サービスと柔軟かつ迅速な連携が可能となり、静岡銀行のデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現を支援します。

システム構造の全面刷新により、システム構築や運用コストを最適化するほか、環境変化へ柔軟に対応するための新商品開発や機能追加を可能とし、将来にわたって多様な金融サービスの提供や戦略的な経営方針の策定・遂行を支援します。

なお、本システムは、金融庁が金融機関の基幹系システムに関する先進的な取り組みを支援する「基幹系システム・フロントランナー・サポートハブ」*1において、第1号案件として支援が決定しています。

今後も、日立は、地域金融機関のデジタルシフトの実現に向け、「2025年の崖」*2として指摘されるレガシーシステムのさまざまな課題に対し、高い信頼性が求められる勘定系システムを担うIT人財の育成強化や金融機関との人財交流といったさまざまな面から支援を継続し、地域活性化や持続可能な地域社会の実現をめざす地域金融機関のビジネス変革に貢献します。

*1 金融庁「「基幹系システム・フロントランナー・サポートハブ」初の支援決定案件について」
<https://www.fsa.go.jp/news/r1/20200430.html>

*2 2018年に経済産業省が発表した「DXレポート」で指摘されている、2025年以降に顕在化するとされているレガシーシステムの課題。システムの長期利用によって老朽化・複雑化・ブラックボックス化したレガシーシステムのデジタルシフトが必要とされる中、これまで基幹系システムを担ってきたエンジニアの退職・高齢化などの影響を受け、レガシーシステムを把握しているエンジニアのリソースが不足し、ソフトウェアの保守停止などに対し適切な対応ができなくなるという問題。
経済産業省ウェブサイト「DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～」
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html

■次世代オープン勘定系システムの特長

本システムは、Linux ベースのオープン基盤上で稼働する勘定系システムで、従来のメインフレームにおける勘定系システムのアーキテクチャーを刷新し、預金、為替、融資といった銀行業務を実現する「記帳決済システム」と、各種業務システムやチャネルサービスなどとの接続を統合する「バンキングハブシステム」の 2 つのシステムで構成されています。

1. 記帳決済システム

勘定系システムの標準領域にあたる基幹業務の機能をコンポーネント化、パラメータ化し、機能同士の緩やかな連携を実現することで、個々の業務の特性や重要度に合わせ柔軟に最適な機能配置を実現できるアプリケーション構造に刷新しています。これにより、従来の「複雑な勘定系システム」から「シンプルな勘定系システム」へ転換し、開発生産性を高め、稼働後の環境変化に対応した機能追加や新商品開発を迅速化できるなど、将来に向けて持続可能な勘定系システムを実現します。

2. バンキングハブシステム

営業店システムやインターネットバンキングといったチャネルサービスと容易に接続可能なアダプタ機能を有し、シームレスかつ迅速なチャネル追加や、インタフェースの統合管理と集約を図り、「シンプルな勘定系システム」の実現に寄与します。また、他システム連携を高効率で実現可能とすることで、経営戦略遂行の自由度・柔軟性を向上し、「作る勘定系システム」から「使う勘定系システム」への転換を実現します。

■日立の次世代オープン勘定系パッケージに関する Web サイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/solutions/application/banking/corebanking/index.html>

■日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/>

■商標に関する表示

・Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019 年度の連結売上収益は 8 兆 7,672 億円、2020 年 3 月末時点の連結従業員数は約 301,000 人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、IT の 5 分野で Lumada を活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の 3 つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融システム営業統括本部 [担当:松浦、高島]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせフォーム:<https://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
